

第二回 京都府生徒会連盟

「大学生は大人？子供？」議事録

議長 日野実咲

1. はじめに 「なぜこれを考える必要があるのか」

高校生⇒子供

→高校生としてできることを考えた

大学生⇒子供？

子供⇒学生としてできることを考える

大人⇒一大人として問題の根本的解決を目指す

大学生の立場をわかっておくことは大学生活での研究や人間関係作りに重要なのではない
か

だがしかし、成人しているかどうかという線引きはあっても、大人になったかどうかの線
引きは曖昧...

⇒自分たちなりの答えを持っておくことが大切なのではないか

2. 始めの意見

{大人}

- ・成人している
- ・精神的に自立している
- ・働ける
- ・世間的には大人として見られるのでは

{子供}

- ・高校でも大学でも教わるということに差はあまりなく、大人になったという実感もない
- ・まだ「学生」である

{大人と子供の間}

- ・責任は負うけど経験は浅い

3. 責任についての議論

- ・責任は大人しか取れないのか

⇒学校内で小さな失敗等であれば子供でも責任をとれるのでは

⇒しかし金銭や契約、犯罪等になると親の責任となるので

やはり大人しか責任をとれないと考えていいのでは

4. 働いていること・社会人・大人の関係性についての議論

- ・働いていれば社会に立場があるので社会人であり大人ではないか

⇒ではアルバイトは？

- ⇒短期のアルバイトは責任がほとんどないので対象外ではないか
- ・大学の規則に守られているので子供ではないか

5. まとめ①

- ・大学に守られているので大学生としての活動内では子供だが長期で働いている場合、そこでは一大人としての責任が生じるので大人である

6. 責任・自由・信頼についての議論

- ・責任・自由・信頼度合は密接に関係している
- ⇒社会に出たときに、大学を出ているとなると、このくらいの仕事を任せられるなといったような「信頼」が発生する
- ⇒つまり大学生は「信頼」を得る過程であり、大学生にかかわらず学生はこの「信頼」を得る過程だと考えられる

7. 本当に大学に守られているのかの議論

- ・大学ではあまり規則がないのに本当に守られているといえるのか
- ⇒学校での活動で何か社会に対して失敗してしまったときは学校の責任になるので守られているのではないか
- ⇒会社であっても会社で大きな失敗したときはその団体や会社自体の責任になると考えられるので、大人でも変わらないのではないか
- ⇒大学だけが「守ってくれる」から子供という認識はおかしいのでは

8. まとめ②

- ・学生は社会に出たときに重要になる信頼を得るための過程であるにも関わらず、年齢的には責任を取らなければならない年齢なので、大人かどうかの判断が難しくなっているが、成人していることによって責任は自分でとる必要があるので、大人である

追記

参加してくださった皆さんありがとうございました！
ぐだぐだの進行でしたが、皆さんのご協力のおかげでなかなか白熱した議論ができたと思っています。
もし、今回考えたことが皆さんの高校生活や大学生活等で役に立てばいいなと思います。
皆さん、本当にありがとうございました！！